

大成ロテック 多機能アスコン用添加材 少量製造で広範囲対応

大成ロテックは、プラントミックス型の添加材「リラクスファルトHTP」を開発した。アスファルトの混合時に投入するだけで、わだち掘れやひび割れが発生しにくい多機能アスコンを製造できる。既存の多機能アスコン用

改質アスファルト「リラクスファルトHT」と同等のアスコンを少量でも製造でき、より広い範囲での活用が期待される。今後、リラクスファルトHTと合わせて年間5万平方メートル以上の施工実績を目指す。

リラクスファルトHTは、変形追従性・応力緩和性と流動抵抗性を高いレベルで両立した高耐久アスファルトだ。

添加材の外観



同製品を使用した舗装は、これまでに12万平方メートルの施工実績を持つが、市販のアスファルト同様にア

スファルトローリー車で合材工場へ運搬して混合製造するため、少量の混合物の出荷には対応しづらいことが課題となっていた。

新たに開発した添加材「リラクスファルトHTP」は、ゲル状の改質材を特殊な樹脂で包んだ。合材工場ではアスコンを混合製造する際、必要な量に応じて市販のアスファルトと一緒にミキサーへ投入し混合するだけで、一般的なわ

だち掘れ対策用の改質アスコンと同等以上のわだち掘れ抵抗性を発揮する。疲労によるひび割れ発生の評価実験では、70倍以上の抵抗性を有する多機能アスコンが製造できる。1個当たりの分量は45gで、1トのアスコンを混合する際の投入量は約300個、これを5センチ厚で敷き均した場合、1平方メートルの必要量は30〜40個という計算になる。